

## 令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	松阪市	代表者名	竹上 真人
担当者部署	デジタル未来戦略局	連絡先電話番号	0598-53-4363
担当者役職	主任	担当者氏名	上村
住所	515-8515 三重県松阪市殿町1340番地1		

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	千葉 大右
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	自治体現場に対する理解が深い。説明がわかりやすく、経験の浅い者からも好評であった。
アドバイザーへの要望事項	

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年10月20日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			13時00分	16時00分	
			活動時間（分）	180	
3-2. 派遣場所	会場名	松阪市役所庁舎	最寄駅	松阪駅	
	所在地	三重県松阪市殿町1340番地1	最寄駅からの交通手段	路線バス（三重交通）	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	<a href="https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/">https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/</a>
------	--------------------------------------	---

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	市職員(各課より参加)	65 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	標準化に向けたFIT&GAPを実施を推進していくにあたり、標準化の意義や効果などを現場担当者が理解する必要がある。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	現在取り組んでいる自治体システム標準化の本来の目的を理解すること デジタル手続法によるオンライン化の推進、進める際のポイントなどを理解すること	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	標準化や行政手続きのオンライン化については、コロナ過における「デジタル敗戦」から始まったわけではなく、長く検討されてきた課題であり、2040問題に立ち向かうためには必要な取り組みでありながら、取り組みが進めにくい状況にあることなどを経験を含めて説明いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	FIT&GAPの推進にむけたキックオフとなった	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	行政手続きのオンライン化の推進については、バックヤードが完成しないと進みにくく、周知もしにくいツールになってしまいます。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	各職員のデジタルリテラシーが向上し、デジタルツールの活用が図られている	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

#### 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

